LIXIL

保証書付

Do CARE Unit〈ドゥケア・ユニット〉

介護施設向け 2020 サイズ

BUP-2020LB
BUPS-2020LB

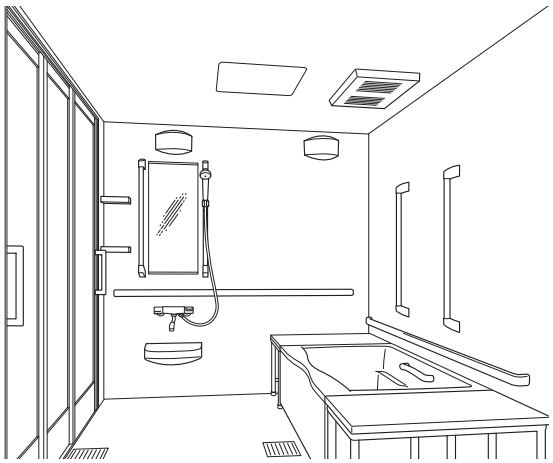
取扱説明書

この度は当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
このシステムバスルームを美しく、また快適にご愛用いただくために、ご使用前にはこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。

この取扱説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承願います。

※ この取扱説明書と水栓、機器類の取扱説明書は、必要なときにすぐ取り出せるところに保管してください。

取付業者の皆様へ
この取扱説明書は必ずお客さまにお渡しください。

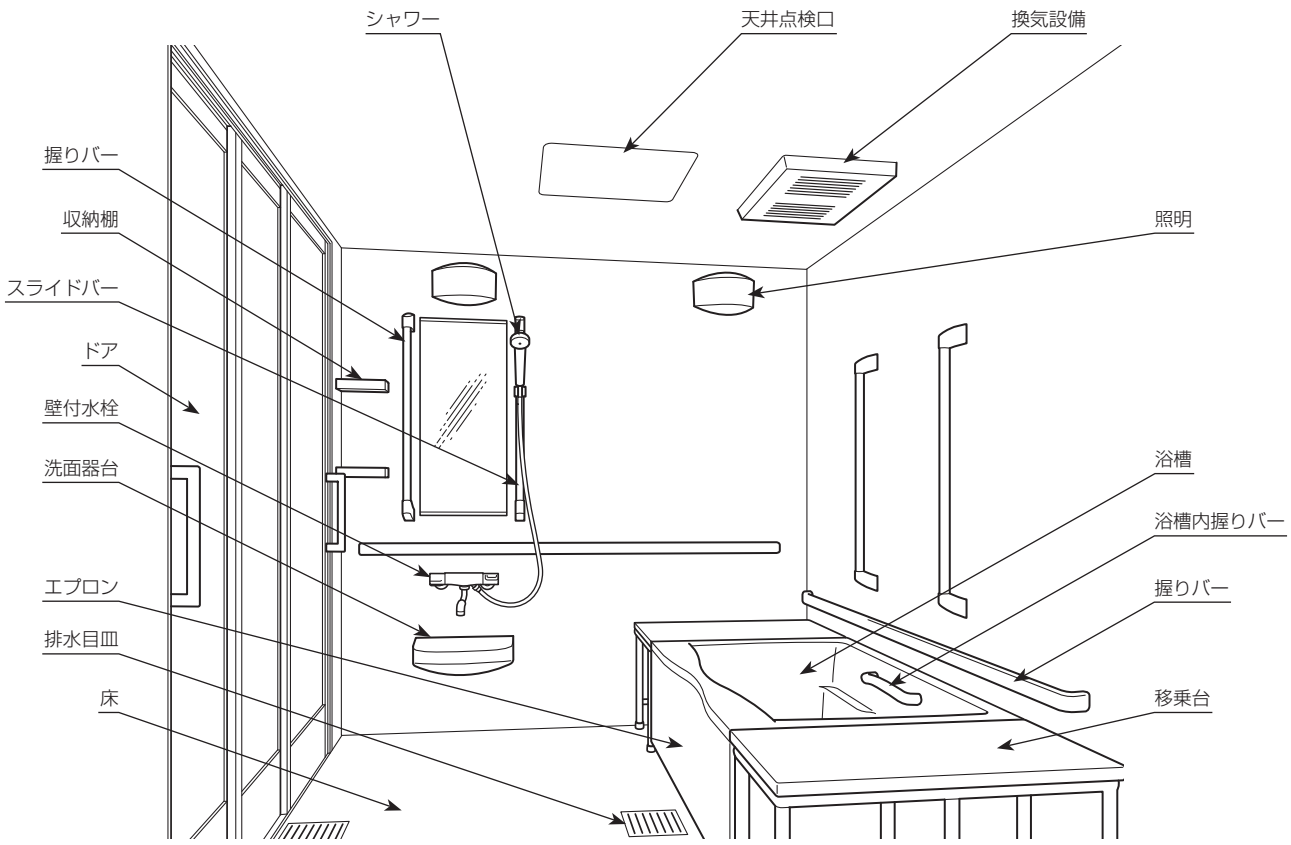


もくじ

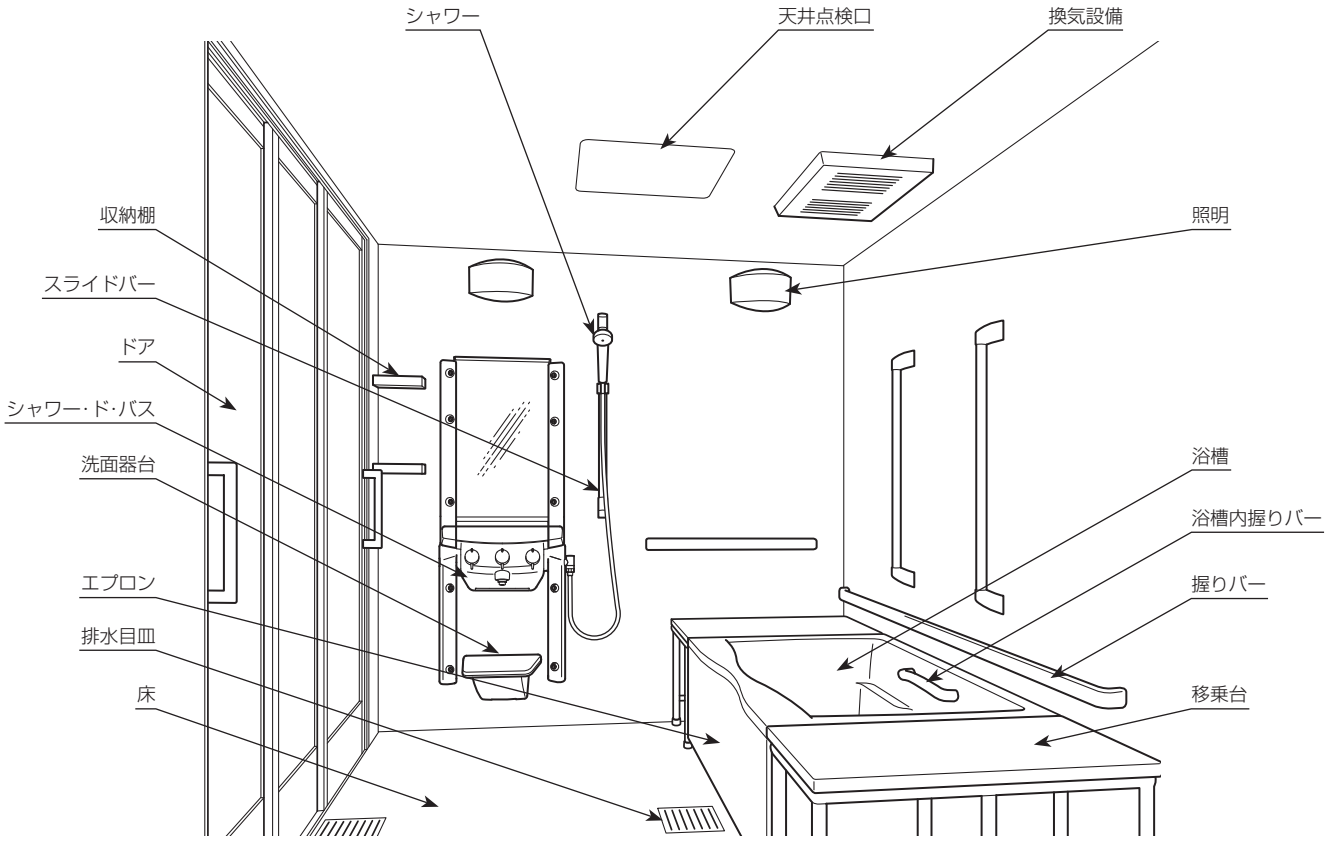
各部のなまえ ……		2
安全上のご注意（必ずお守りください） ……		3
故障をおこさないためにお守りください ……		8
ご使用方法		
	ドアの施錠・解錠と取外し方 ……	11
	水栓について ……	13
	シャワー・ド・バスについて ……	15
	換気設備について ……	16
お手入れ方法		
	入浴後のお手入れ ……	17
	日頃のお手入れ ……	17
	念入りなお手入れ ……	20
長くお使いいただくために		
	シャワーや吐水口からの水量が少なくなったと感じたら ……	24
	照明について・ランプのおとりかえ ……	26
故障かな？と思ったら ……		28
アフターサービスについて ……		29
品番を調べる・廃棄について ……		30
保証書 ……		31

各部のなまえ

BUP-2020LB



BUPS-2020LB



安全上のご注意（必ずお守りください）

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

表示マークについて

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示マークで区分し、説明しています。

⚠ **警告**……「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠ **注意**……「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

絵表示について

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

……「注意しなさい！」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

……「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

……「分解してはいけません！」

……「指示した場所に触れてはいけません！」

……「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠警告

水栓金具や換気扇等の取扱いについての警告

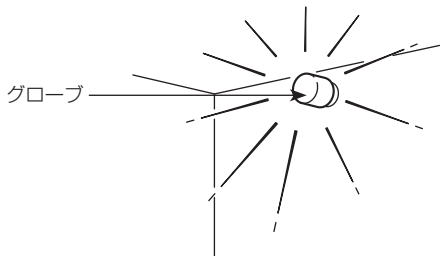
水栓金具や換気扇等の付帯設備は、それぞれの商品に添付されている取扱説明書、および本体の注意表示に従ってお使いください。
※誤った使い方をすると、**ヤケドや感電・ケガや故障の恐れ**があります。

排水栓についての警告

浴槽排水栓は、きちんと閉まっていることを確認してください。

照明や換気扇についての警告

照明器具や換気扇等の電気製品は、グローブやルーバー等のカバーを外して使用したり、直接水をかけないでください。
※**火災や感電・故障したり、電球が割れてケガをする恐れ**があります。



照明器具にタオル等をかけないでください。
※**過熱して火災になる恐れ**があります。

換気扇等のお手入れや、ランプを交換する場合は必ず電源（スイッチ）を切ってから行ってください。
※**感電やケガをする恐れ**があります。

全体についての警告

分解・修理・改造はしないでください。
※**感電や故障する恐れ**があります。

ケガやヤケドについての警告

幼児や身体の不自由な方、温度感覚のない方だけで入浴させないでください。
また、付き添って入浴される場合は、幼児や身体の不自由な方、温度感覚のない方から目を離さないでください。
※**おぼれたり、ケガやヤケドをする恐れ**があります。

浴室内で幼児だけで遊ばせないでください。
※**おぼれたり、ケガやヤケドをする恐れ**があります。

⚠注意

ケガに注意！！

換気設備運転中はルーバーを外してファンやヒーターに触れたり、指や棒を入れないでください。
※**感電やケガ･故障の恐れ**があります。

浴槽に飛び降りる等、無理な力を加えないでください。
※浴槽が破損して**ケガをしたり、漏水する恐れ**があります。

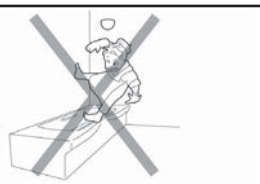
浴室内は石けん液や入浴剤等ですべりやすくなっています。ゆっくりとした動作を心がけてください。
※転んで**ケガをする恐れ**があります。

鏡に熱湯や冷水をかけないでください。
※急激な温度変化は鏡破損の原因となり、**ケガをする恐れ**があります。

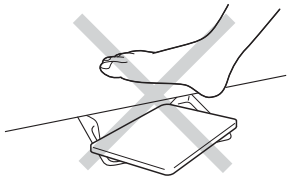
点検口は設備点検時以外は開けたり、中に物等を置かないでください。
※**火災･感電や漏水**、またフタが外れ、落下して**ケガをする恐れ**があります。

ものをぶつける等、鏡や壁・照明カバーへの衝撃はお避けください。
※表面がキズついたり、割れて**ケガをする恐れ**があります。

浴槽、洗面器台、移乗台の上に立ったり、洗面器台に腰掛けたりしないでください。
※転倒して**ケガをする恐れ**があります。



排水目皿を外したまま、使用しないでください。
※足を踏み外して**ケガをする恐れ**があります。



お手入れのときは必ずゴム手袋等で保護してください。
※突起部分やすき間等で**ケガをする恐れ**があります。

収納棚に無理な力を加えないでください。
※**破損しケガをする恐れ**があります。

⚠注意

ケガに注意！！

エプロンに無理な力や衝撃を加えないでください。
※エプロンが割れたり、脱落して**ケガをする恐れ**があります。

・シャワーヘッド・シャワーフックに無理な力を加えないでください。
　※破損して**ケガをする恐れ**があります。
・シャワーヘッドを落としたり、ぶつけたりしないでください。
　※シャワーヘッドにキズがつき、**ケガをする恐れ**があります。

自分で取り付けないで！！

ご自分で壁に穴をあけて、握りバーやタオル掛等を取り付けないでください。
※**漏水の原因**となります。

器具の位置を変えたり、新しく取り付けるときは、必ず販売店等にご相談ください。
※誤った取付けをすると思わぬ**事故や漏水の原因**になることがあります。

溶剤、薬品に注意

・排水口にシンナー等の溶剤や薬品類を流し込まないでください。
　※**漏水の原因**となります。
・床表面にアルカリ性の薬品を長時間放置させないでください。

殺菌消毒薬を使用するときは、容器に表示されている注意書きに従って、正しくお使いください。
※使い方を誤ると、**人体に影響が出たり、本体に不具合が生じる恐れ**があります。

・以下の水や入浴剤は使わないでください。
　・水道水以外（水道水とは水道事業体が供給する上水をいいます。）
　・硫黄系、酸・アルカリ系の入浴剤
　・溶剤、オイル、アルコールを含む入浴剤
　・粉末でお湯に溶けにくい入浴剤
　※**浴槽・床表面の変色やパッキン、目地材やゴム部品等を傷め、漏水の原因**となります。

⚠注意

溶剤、薬品に注意

固形、または粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤を使ったり、近づけたりしないでください。
※**金属やゴムが腐食、劣化して漏水の原因**となります。

化粧品、アロマオイル等の薬品が付着した場合は、すぐに水できれいに洗い流してください。
※付着したままの状態で放っておくと**漏水や変色、割れ等の原因**になります。

冬期凍結の恐れがある時期

冬期凍結の恐れがある時期（浴室内温度が零度以下へ低下）に長期間使用しない場合は、トラップ内の水を吸い出して不凍液と入れ替えてください。不凍液が入手できない場合は、不要になったタオル等をトラップ内に押し込んで、排水からの臭気があがってこないようにしてください。
※トラップ内の水が凍結し、トラップが**破損、漏水する恐れ**があります。

凍結の恐れがある場合は、水栓の取扱説明書に従って必ず水抜きをしてください。
※冬期凍結の恐れがある場合は、浴槽内の湯は排水してください。
※**漏水や破損・故障の原因**となります。

目地のキズに気をつけて

床・壁・天井等の継目部分の目地材（または、コーキング材）をはぎ取ったり、キズ付けないでください。
※**漏水の原因**となります。

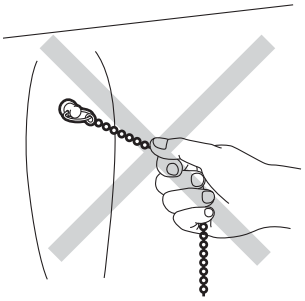
故障をおこさないためにお守りください

無理な力を加えないで！！

重いものや硬いものを落さないでください。
※**キズの原因**となります。

水栓吐水口を上下に動かしたり、無理な力を加えないでください。
※**漏水の原因**となります。

ゴム栓の玉くさりを強い力で引っ張らないでください。
※**破損や浴槽の湯が抜ける原因**となります。



おそうじのときは！！

タワシ、クレンザー、研磨剤、シンナー、アルカリ性および酸性の薬剤、塩素洗浄剤は表面をキズつけたり、変色、サビの原因となりますので使用しないでください。漂白剤、カビ取り剤は必ずその取扱説明書を読み、目立たない箇所に付けてみて、変化のないことを確認してから使用してください。
※サンドペーパーやタワシの使用も、光沢を失わせキズをつけるのでおやめください。

ドアは浴室内の湯気や飛散する水を防ぐためのものです。ドアに直接水をかけないでください。
※浴室外に水が漏れ、**室内等をぬらす原因**となります。

お手入れ等で、排水トラップや浴槽排水口のヘアキャッチャーを取り外した後は、きちんとはめ込んでから、使用してください。
※**排水管の詰まりや悪臭の原因**になります。

金属類を放置しないで！！

ヘアピン･カミソリの刃等放置しないでください。
※**サビが付着して取れなくなる場合**があります。

火を近づけないで！！

タバコ等の火気を近づけないでください。
※**キズ・ヒビ割れの原因**となります。

浴槽浄化保温機について

浴槽には浴槽浄化保温機（24 時間バス）に該当する機器は使用しないでください。
※継続して使用すると**浴槽表面の荒れ・退色等を著しく促進する場合**があります。

化粧品（毛染め剤等）の使用について

浴室内で毛染め剤やマニキュア除光液をご使用される時は、必ずシート等で床等を保護してください。
※床等に付着すると**シミになる場合**があります。

吸盤付製品の使用について

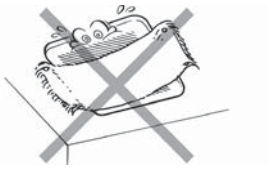
吸盤付タオル掛、吸盤付石けん置き等を使用しないでください。
※**変色する恐れ**があります。

バスマット等の使用について

バスマット等を床に敷く場合は、ご使用後、水洗いして、乾燥させてください。
※**カビ、変色、ニオイの原因**となります。

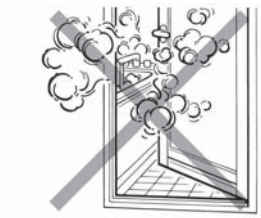
換気等に注意！！

換気扇の吸込口をタオル等でフタをしないでください。
※**故障の原因**となります。



入浴後は換気扇を使用する等、浴室にこもった湿気を屋外へ排出してください。
ただし、常時（24 時間）換気機能付の場合は入浴後「強」運転を行い、浴室の湿気を排出してから「弱」運転にて常時換気を行ってください。
※浴室にこもった蒸気は、**悪臭やカビの発生原因**となります。
※換気扇を使用する時は、ドアを開けないでください。十分な換気ができません。

入浴中や貯湯、入浴直後は浴室のドアを必ず閉めてください。
※浴室外に蒸気や水が漏れ、**室内等をぬらす原因**となります。
※ドアがきちんと閉まった状態でも、シャワー等で勢いよくドアのあわせ目に散水すると外へ漏れることがあります。また蒸気や光につきましても完全に遮へいする構造ではありません。

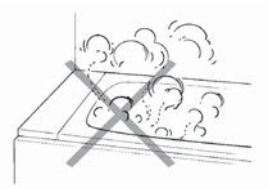


土足で入らないで！！

浴室内に土足で入らないでください。
※床にキズがついたり、汚れる場合があります。

熱湯に気をつけて！！

お湯は温度を調節して給湯してください。
※直接熱湯（80℃以上）を入れたり、お湯を沸かしすぎますと**浴槽や排水金具を傷めたり、寿命を短くする原因**となります。



シャワーヘッドを浸さないで

シャワーヘッドを浴槽等に浸さないでください。
※一度吐水された湯水等が**配管に逆流する恐れ**があります。

排水トラップの封水について

排水トラップの水（封水）が蒸発等により減少、または無くなっている場合は、排水トラップに水をためてください。
※排水トラップの水（封水）が無くなると**臭気・害虫の侵入や、ガスにより金属・メッキ部品のサビの原因**となります。

ジェルステッカー・ジェリーグミは張らないで

ジェルステッカー・ジェリーグミ等は鏡以外に張らないでください。
※**色が付着して取れなくなる場合**があります。

ご使用方法

ドアの施錠・解錠と取外し方

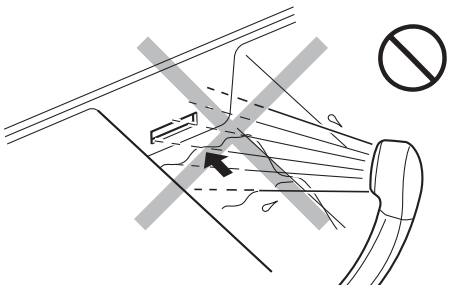
以下の説明をよくお読みいただき、該当する方法で正しくご使用ください。
浴室ユニットをご使用の前に、ドアを開けたままで解錠が可能か確認してください。万一、解錠ができない場合は、購入先へ連絡してください。

ワンポイント 小さなお子さまが浴室内に一人で入らないように、入浴時以外は浴室外側からの施錠をおすすめします。

3 枚引き戸の施錠・解錠

⚠ 注意

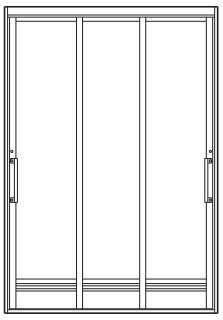
戸の下枠に設けられている排水穴に直接シャワーで水を掛け続けたり、排水穴に向けて多量の水を流したりしないでください。
※浴室外へ水が漏れ、**室内等をぬらす恐れ**があります。



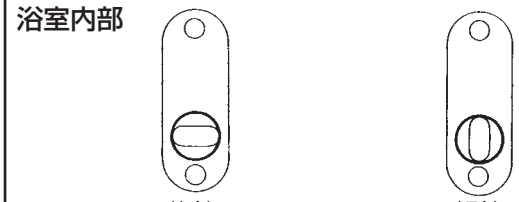
⚠ 注意

開閉の際には、扉のすき間に指や手をはさまないよう、注意してください。
※ケガをする恐れがあります。

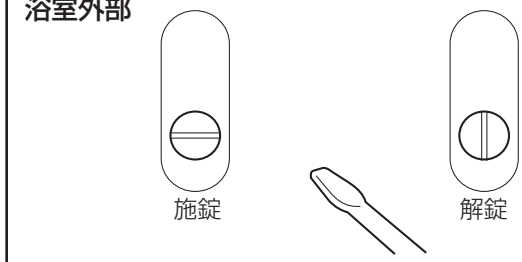
※ロックの形状を確認し、該当する方の説明をご確認ください。

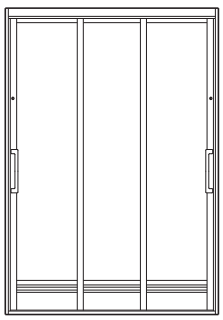


浴室内側からの施錠・解錠

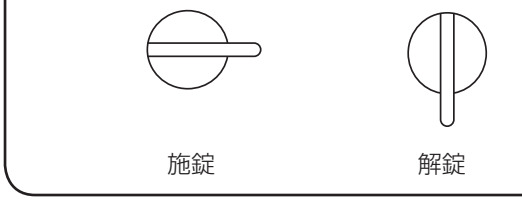


浴室外側からの施錠・解錠（非常時）





施錠・解錠



※施錠方法・解錠方法は、浴室内側から、
浴室外側からともに同じです。

水栓について

詳しくは各水栓の取扱説明書をご覧ください。

⚠ 注意

●水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。
※高温の湯が出て**ヤケドをする恐れ**があります。

●高温の湯をお使いの時には、吐水口やシャワーホースが高温になることがあります。
金属部の表面に肌が直接触れないようにしてください。
※**ヤケドをする恐れ**があります。

●ハンドル操作の急閉止はおやめください。
※**ウォーターハンマー（衝撃音）が発生**することがあります。
※配管から漏水をおこし、**室内等をぬらす恐れ**があります。

●凍結が予想される場合は、水栓の取扱説明書をご覧になり水抜きを行ってください。
※凍結破損で漏水をおこし、**室内等をぬらす恐れ**があります。

? もしもこんなとき

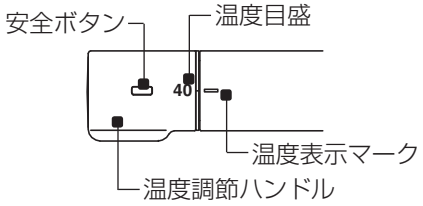
サーモ水栓では、給湯器の設定温度が低温（40℃前後）の場合、水栓から吐水される湯温が、表示温度から低めにずれることがあります。給湯器の温度設定は、**50 ～ 60℃に設定**してください。
また季節によって給水温度も変化しますので、冬期は給湯器の温度設定を夏期に比べて高めに調節いただきますと表示温度とのずれが少なくなり、快適にご使用いただけます。
詳しくは給湯器や水栓の取扱説明書をご覧ください。

壁付サーモ水栓「ノルマーレ」

詳しくは各水栓の取扱説明書をご覧ください。

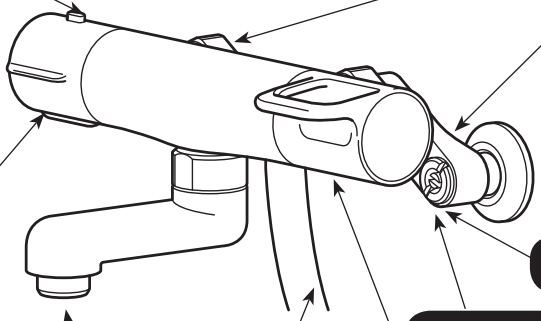
① 温度の調節

温度調節ハンドルの温度表示は吐水温度を示しています。目盛「40」を目安として、温度表示を本体側の温度表示マークに合わせてください。



ワンポイント

高温側に回すと、安全ボタンの働きで「40」の表示を少し過ぎたところで一度温度調節ハンドルが止まります。さらにお湯の温度を上げたい場合は、安全ボタンを押しながら回してください。



安全ボタン

「40」の表示を少し過ぎたところで一度ハンドルが止まります。

取付脚（給湯側）

取付脚（給水側）

水側流量調節栓

ストレーナー

温度調節ハンドル

お湯の温度を調節します。

シャワーホース

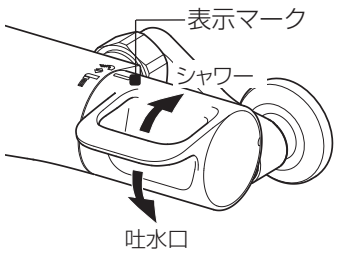
吐水口

シャワー・バス切替ハンドル

シャワーと吐水口の切替えと止水をします。

② 吐水口、シャワーの切替え

シャワー・バス切替ハンドルの表示ボタンと本体側の表示リングの「・」または「止」マークが合っているときが止水位置です。シャワー使用のときは、シャワー・バス切替ハンドルを上に回してください。吐水口使用のときはシャワー・バス切替ハンドルを下に回してください。



※湯温が低い場合は、「故障かな？と思ったら」を参照ください。
※ストレーナーの掃除は、「**長くお使いいただくために**」を参照ください。

シャワー・ド・バスについて

詳しくはシャワー・ド・バスの取扱説明書をご覧ください。

シャワー・ド・バスの使い方

⚠警告

必ず温度を確認してから使用してください。
※高温の湯が出て**ヤケドをする恐れ**があります。

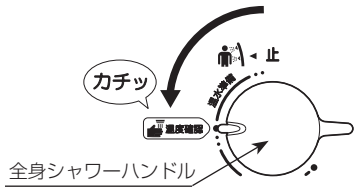
⚠注意

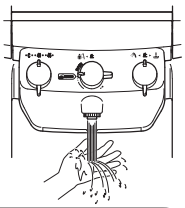
アームの操作はゆっくりと、無理な力をかけないように行ってください。
※壁とアームの間で指をはさんで**ケガをしたり、破損の原因**となります。

ハンドル操作の急閉止はおやめください。
※**ウォーターハンマー（衝撃音）**が発生することがあります。
※配管から漏水をおこし、**室内等をぬらす原因**となります。

①

全身シャワーハンドルを左へゆっくり回すと、温度確認 表示位置でいったん止まり、配管内の冷水が吐水口より排出されますので、手で温度を確認してください。





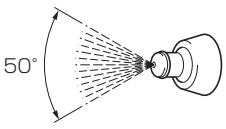
ワンポイント 冷水は吐水口から排出されますので、水はねしないように洗面器等で受けることをお勧めします。

②

ノズルからの噴霧が顔にかからない位置までアームの角度を調節します。全身シャワーハンドルを左へゆっくり回すと、ノズルよりお湯が噴霧されます。

③

アームをお好みの位置に合わせます。
ノズルの角度を調節します。



ワンポイント
全身シャワーでは、ハンドシャワーや吐水にくらべ温度が低く感じられます。

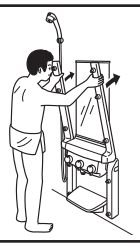
④

全身シャワーハンドルの凸部を表示の「止」マークに合わせ、止水します。

ワンポイント
止水後、シャワー･ド･バス内の残水排水のため、しばらくの間ノズルよりお湯が排出されます。

⑤

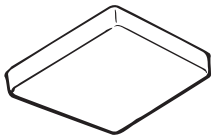
ご使用後は壁面へアームを戻します。



換気設備について

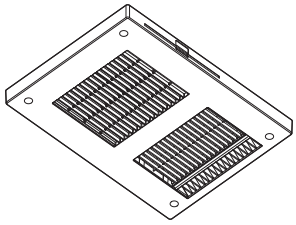
種類

お使いの機種をご確認ください。
（　）内は換気扇・暖房機の取扱説明書品番を示します。
商品付属の「取扱説明書」をご覧ください。



天井換気扇

UF-27A（GPU-0350）



常時換気機能付
電気式換気乾燥暖房機

UFD-211A（GPU-0409）

お手入れ方法

入浴後のお手入れ

浴槽と壁のすき間にシャワーで熱めのお湯をかけてください。
※すき間にはいったお湯は排水されますので心配ありません。
※ すき間が汚れている場合は毛先の長い柔らかいブラシ等で掃除してください。
洗剤や洗剤に溶け込む人体の油脂類等が壁に飛び散り、付着しますと、カビの発生の原因となります。壁、床にシャワーで熱めのお湯をかけ、汚れを洗い落としてください。その後水のシャワーをかけ、室内の温度を下げます。
壁、床の水滴をふきとり、**換気扇や窓を開け換気を十分にとってください**。

日頃のお手入れ

共通事項

- クレンザー・磨き粉・ラッカー・シンナー・アルコールまたは、アンモニア、苛性ソーダ、塩酸等の薬品は使用しないでください。カビ取り剤を使用する場合は、必ずその取扱説明書を読んで、正しくお使いください。
  ※キズ、変色等の原因になります。
- カビ取り剤等アルカリ性の薬品を使用する場合は、必ずその取扱説明書を読んで正しくお使いください。
  また、使用後はすみやかに水でよく洗い流してください。

壁・天井のお手入れ

1週間に1度程度、うすめた浴室用合成洗剤（中性）をスポンジ等柔らかいものに付けて洗い、よくシャワーで洗い流し、換気を十分とってください。タワシ等でこすりますとキズの原因になります。
また１ヶ月に１度程度、天井も壁と同様に長い柄付スポンジ等で汚れをふきとってください。

ワンポイント 汚れたまま放置しますと付着したカビが材料内部へ入り込みふきとれなくなる場合があります。

浴槽や床のお手入れ

入浴後の湯等を放置しますと、浴槽の内面や床に緑青や白い汚れ（金属石けん）が付いてとれなくなることがあります。市販のクリームクレンザーを使用して磨けば落ちます。しかしクレンザーを多用しますと表面が荒れたり、光沢が失われますので、入浴後はできるだけすみやかに、排水、掃除をしてください。また、著しくカビが発生しているときは、市販のカビ取り剤をお使いください。

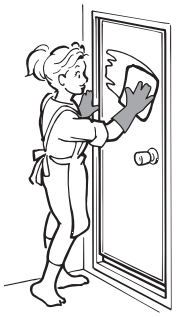
お願い 漂白剤やカビ取り剤を使用する場合、必ずその取扱説明書をよく読んで正しくお使いください。

ワンポイント

- お手入れの際の浴室用合成洗剤（中性）は泡切れのよいものを使用いただきますと、シャワーで洗い流す回数が少なく、経済的です。
- 浴槽底面にたまった細かな砂、金属等はよく洗い流してください。放置すると表面をキズつけたり、変色、サビの発生の原因となります。

ドアのお手入れ

浴室用合成洗剤（中性）を柔らかい布に付けて、ふいてください。
ドアやドアの下、ドアの廻りのパッキン等、汚れがひどい場合は、歯ブラシ等にうすめた浴室用合成洗剤（中性）を付けて洗ってください。
洗剤で洗った後は、洗剤が残らないように、湿らせた布でよくふきとってください。
ガラリ部分（空気取入口）も目詰まりしないよう、こまめに掃除機等で清掃を行ってください。
ドアを洗う場合に、ドアに直接水をかけないようにしてください。ドア外へ水が飛散する場合があります。また、ドア枠にたまったゴミはこまめに取り除いてください。キズの原因となります。

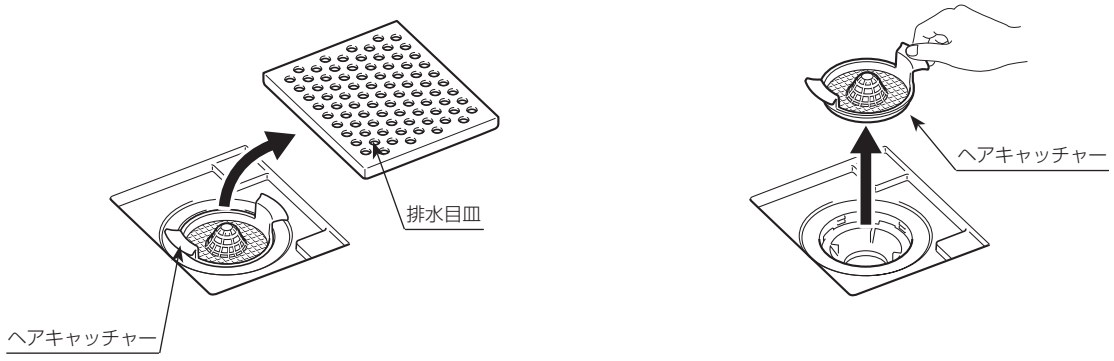


鏡・照明グローブ・収納棚のお手入れ

うすめた浴室用合成洗剤（中性）をスポンジ、柔らかい布等に付けてふいてください。ふいた後は水を含ませた柔らかい布で洗剤をよくふきとってください。

ワンポイント 鏡の表面の白濁した汚れは消毒用エタノールを柔らかい布に付けてふき取ってください。

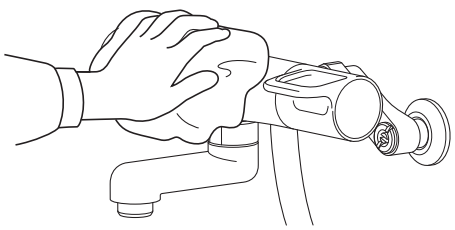
ヘアキャッチャーのお手入れ



①**排水目皿**を外し、ヘアキャッチャーを取り外します
②ヘアキャッチャーや排水トラップ周辺のゴミを取り除いてください。
③お手入れが終わったら、ヘアキャッチャー、**排水目皿**を取り付けてください。

水栓のお手入れ

水栓は週に 1 回程度、乾いた柔らかい布でふいてください。
※硬いものでたたいたり、ぶつけたりしないでください。
キズがついたり、メッキがはがれたりします。
※アルカリ性洗剤や酸性物が付かないようにしてください。
メッキを傷めます。
※水栓については各取扱説明書を参照ください。



床まわりの目地材（またはコーキング材）のお手入れ

床まわりの目地材（またはコーキング材）は少なくとも週 1 回は布またはスポンジにうすめた浴室用合成洗剤（中性）をつけて、汚れをふきとってください。
また、目地材に著しくカビが発生しているときは市販のカビ取り剤や洗濯用、あるいはキッチン用漂白剤をお使いください。
※床にカビ取り剤等が付着すると変色する恐れがありますので、シート等でお手入れ箇所の床を保護してください。
※漂白剤を使用する場合は、必ず漂白剤の取扱説明書を読んで正しくお使いください。
※床まわりの目地材（またはコーキング材）が切れたりはがれたりしている場合、漏水する恐れがあります。目地材が切れたりはがれたりしている場合は、修理を依頼してください。

握りバー・スライドバーのお手入れ

汚れは、乾いた柔かい布でふきとってください。汚れがひどいときは、うすめた浴室用合成洗剤（中性）をしみ込ませた布でふき、そのあと必ず水ぶきしてください。

念入りなお手入れ

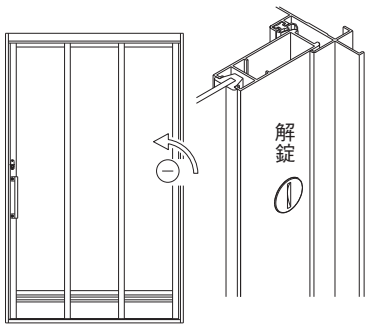
3 枚引き戸の排水溝のお手入れ

※取り除いたゴミは排水口等へ流さないでください。排水管が詰まる恐れがあります。

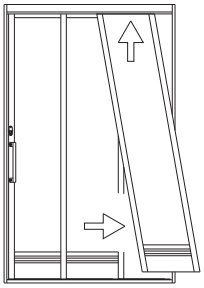
下枠カバーの外し方

浴室外側のロック形状： の場合

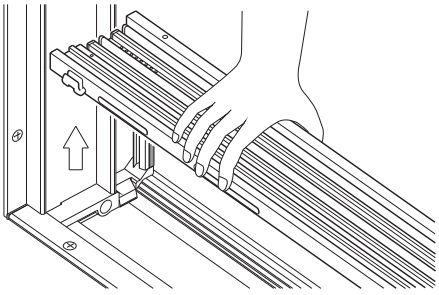
① 固定側扉のロックをマイナスドライバー等で解錠します。



② 扉を持ち上げながら、下部を手前に引いて扉を外します。同様に 3 枚の扉を外します。



③ 下枠カバーを取り外してお掃除します。



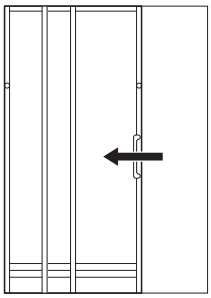
逆の手順で取り付けます。

※「カチッ」と音がするまで取り付けます。

浴室外側のロック形状： の場合

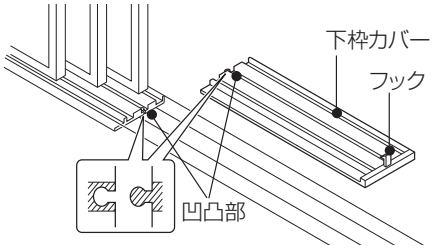
① ロックを解錠して、扉を片側によせます。

※下枠カバーは 2 分割されているので、片側ずつ行います。



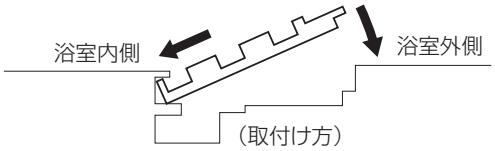
② 下枠カバーを取り外してお掃除します。

※下枠カバーのフックに指をかけて引き上げます。



③ 下枠カバーを取り付けます。

※下枠カバーは浴室側へ差し込むように取り付けます。

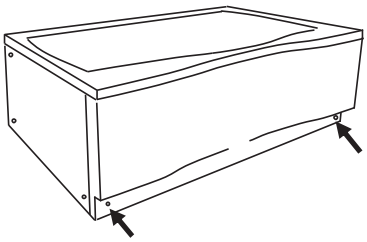


反対側も同様にお掃除します。

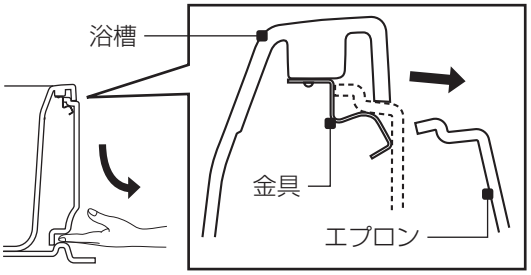
浴槽裏のお手入れ

エプロンのはずし方

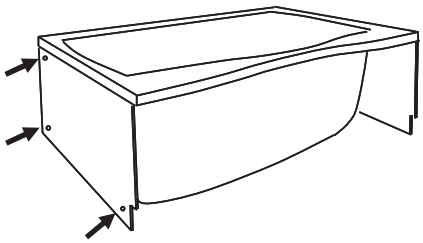
① 前面エプロン両下端の化粧キャップを外し、手回しドライバーにて小ねじを取り外します。
【注意！】電動ドライバーは使用しないでください。



② 前面エプロンの下側を手前に引き、エプロンを取り外します。



③ 側面エプロンの化粧キャップを外し、手回しドライバーにて小ねじを取り外します（片側３箇所）。
【注意！】電動ドライバーは使用しないでください。



④ 側面エプロンの下側を手前に引き、側面エプロンを取り外します。

お手入れ後、エプロンを取り付ける際には逆の手順でエプロンを取り付けてください。
取り付け後、ガタツキ・音鳴りが無いことを確認してください。

浴槽下のお手入れの仕方

1. 浴槽下の床・壁・浴槽裏面に浴室用合成洗剤（中性）をかけて２～３分おきます。
   柄付のスポンジ等で届く範囲をやさしくこすります。
   ※カビが生えている場合は、カビ取り剤をお使いください。

2. 洗剤が残らないように強めのシャワーで洗い流します。

3. 浴槽下排水口周辺のゴミを取り除きます。

換気扇のお手入れ

⚠ 警告

火事・ケガについての警告

修理技術者以外の人は、絶対にルーバーやエアフィルター以外は分解したり修理･改造を行わないでください。
※**発火したり異常動作してケガをする恐れ**があります。

感電・ケガについての警告

換気扇のお手入れは必ず電源を切ってから行ってください。
※**感電やケガをする恐れ**があります。

⚠ 注意

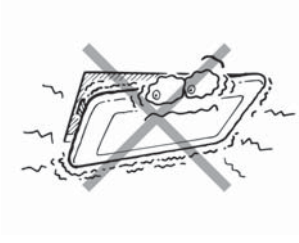
故障・漏電に注意

換気扇に水をかけないでください。
※ **故障や漏電する恐れ**があります。

ケガに注意

高い所での作業になります。ホコリの落下と足場には十分にご注意ください。浴槽や洗面器台の上にのって作業をしないでください。
※転倒して**ケガをする恐れ**があります。

ルーバーやエアフィルターは確実に取り付けてください。
※落ちて**ケガをする恐れ**があります。



ゴム手袋を使ってお手入れしてください。
※**ケガをする恐れ**があります。

クレンザー・磨き粉・ラッカー・シンナー・アルコールまたは塩酸等の薬品や漂白剤は使用しないでください。
※ **キズ、変色等の原因**になります。
また、サンドペーパーやタワシの使用も、光沢を失わせキズをつけるのでおやめください。

長くお使いいただくために

シャワーや吐水口からの水量が少なくなったと感じたら

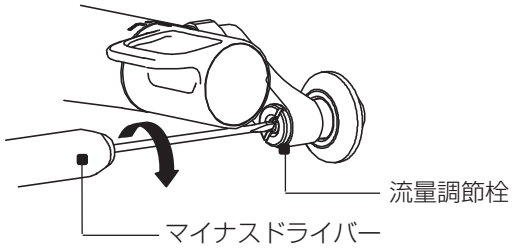
ストレーナー等のゴミ詰まりは機能を低下させます。時々、次の要領で掃除してください。

壁付水栓の場合

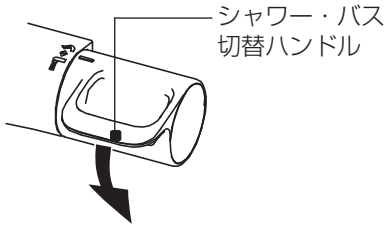
ストレーナーのお手入れ

詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

① 湯側（左）と水側（右）の流量調節栓を右回りいっぱいねじ込みます。

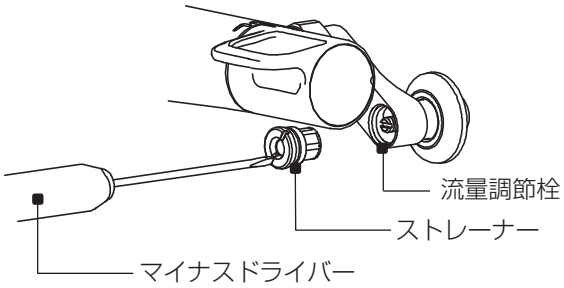


② シャワー・バス切替ハンドルを吐水口側（下）に回します。

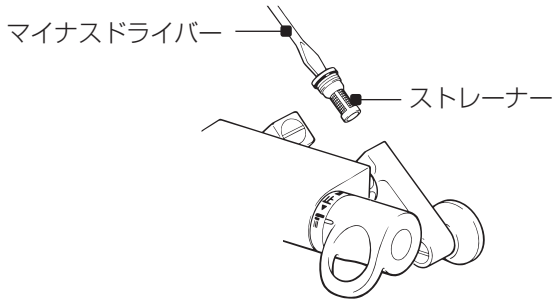


③ 大型のマイナスドライバーでストレーナーを取り外し、ストレーナーのゴミ等を取り除きます。ストレーナーは、湯側と水側の両方に付いています。

＜ノルマーレの場合＞



＜ミーティスの場合＞



④ 組付けは逆の手順で行い、流量調節栓は元の位置に戻します。

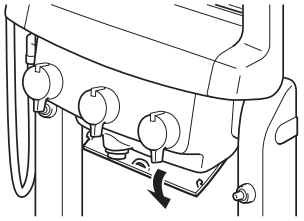
シャワー・ド・バスの場合

お湯の勢いがなくなってきた場合は、ゴミ等によってストレーナーが詰まっている可能性があります。
下記の方法でストレーナーの水洗いをしてください。

ストレーナーのお手入れ

①

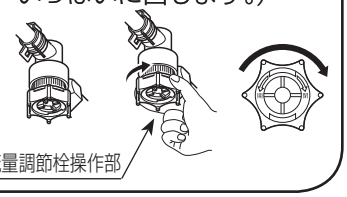
本体カウンター下部の点検口フタを開けます。



②

手で流量調節栓の操作部を回し、流量調節栓を閉じます。（右へいっぱいに回します。）

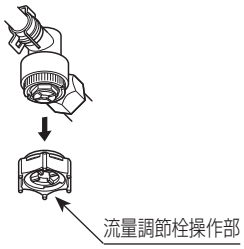
※流量調節栓は湯側（赤）と水側（青）の両方を閉じてください。



③

流量調節栓の操作部を外します。

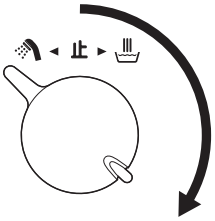
※操作部は、流量調節栓を完全に閉じた状態でないと取外し、取付けできません。



④

ハンドシャワー / 吐水切替ハンドルを吐水側で全開にします。

※水栓内部の圧力を抜きます。

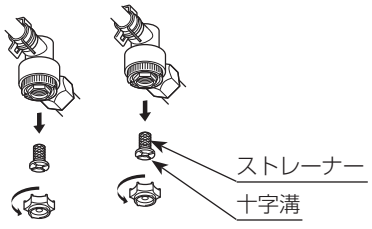


⑤

ストレーナーを取り外し、ゴミ等を洗い流します。

※操作部の十字凸部キャップの十字溝にはめて左（反時計回り）に回して緩めます。

※ストレーナーは湯側と水側の両方についています。両方のストレーナーを掃除してください。



⑥

組付けは逆の手順で行い、流量調節栓は元の位置まで開いてください。

照明について・ランプのおとりかえ

⚠ 警告

故障・漏電についての警告

本体表示を確認し、ランプは必ず指定された種類、ワット数のものをご使用ください。
※ **火災の恐れ**があります。

ランプおよびゴムパッキン、キャップ等の部品はガタつき、ゆるみのないように取り付けてください。
※ **感電、ケガ、故障、動作不良の恐れ**があります。

照明カバーやグローブを外したり、割れ・変形したままで使わないでください。
※ **火災や感電、ランプが割れてケガをする恐れ**があります。

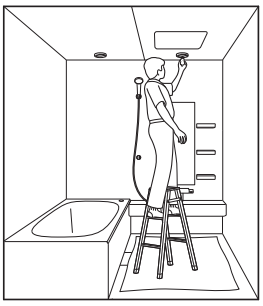
感電・ケガについての警告

ランプの交換は必ず電源スイッチを切ってから行ってください。
※ **感電やショートする恐れ**があります。

⚠ 注意

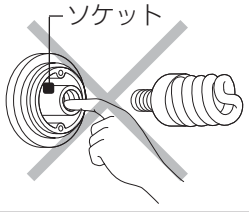
ケガについての注意

ランプの交換は高いところでの作業になります。足場に十分ご注意ください。
浴槽の上に乗って作業をしないでください。
※ **ケガをする恐れ**があります。



照明カバーやグローブはガタつき、ゆるみのないように取り付けてください。
※ 落下して**ケガをする恐れ**があります。

ソケット内部を布等でお掃除したり、指を入れないでください。
※ **故障や感電の恐れ**があります。



破損や故障、ヤケドについての注意

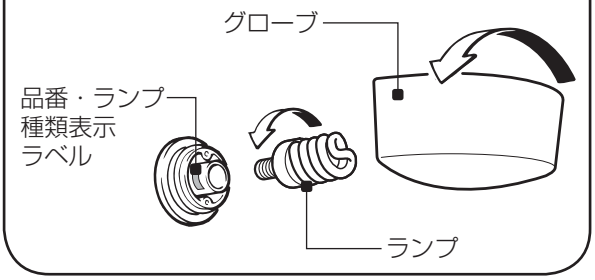
ソケットに無理な力や衝撃を加えないでください。
※**破損や故障の恐れ**があります。

ランプが切れてもすぐに交換しないでください。
※器具やランプが熱くなっており、**ヤケドをする恐れ**があります。

照明のランプの交換方法

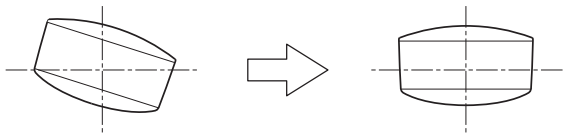
① 照明スイッチを切ります。

② グローブを左に回して取り外します。



③ 新しいランプに交換します。

④ グローブを右に回してガタつき、ゆるみのないように取り付けます。
※上面が水平になるように取り付けてください。

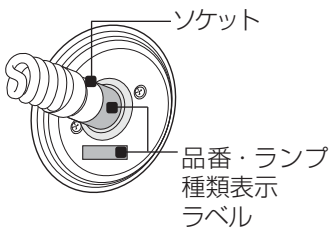


＜適合ランプ＞

照明器具の品番	ランプ名称	ランプの形式	口金サイズ	定格電圧
EFD-K1-2A	蛍光ランプ 60W 形（消費電力 15W 以下） 形状：D 形、または A 形	EFD15EL EFA15EL	E26	AC100V

ワンポイント

電球形蛍光ランプから電球形LEDランプへおとりかえの場合は、
ランプの梱包箱に記載されている注意事項をよく読み、
取付可能か確認してからお使いください。
なお、下表に記載したランプでも、同等性能は確保できます。
お使いの照明器具の品番、ランプの種類をご確認の上、
正しくお使いください。

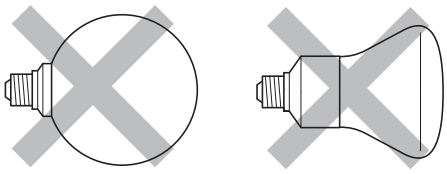


ランプの種類	照明器具の品番	口金サイズ
電球形蛍光ランプ	EFD-K1-2A	E26

電球形LEDランプ品番
・パナソニック　LDA10L-G/K60/W ・パナソニック　LDA10L-G/Z60/W (2013年9月時点)

電球形蛍光ランプ・電球形 LED ランプ使用時のご注意

- 梱包箱に記載されている注意事項をよく読みお使いください。梱包箱に「密閉型器具対応」の表示があるものをご使用ください。
- G 形（ボール電球形）、R 形（レフランプ形）は使用できません。火災の恐れがあります。
- 交換するランプによっては光の広がりが異なり、グローブに光ムラが出る場合があります。
- LED にはバラつきがあるため、光色、明るさが異なる場合があります。
- LED は点灯後、明るさが若干変化します。



G 形
（ボール電球形）

R 形
（レフランプ形）

故障かな？と思ったら

天井換気扇については各取扱説明書をご覧ください。

部　位	現　象	原　因	確認･対応方法	左記の対応をしても直らないときは、修理を依頼してください
全体	音が発生する	浴室に使用しているエプロン等樹脂製品やアクセサリー類は材料の特性上、ご使条件（冬期における暖房機の使用や浴室使用後の窓開放等）により音が発生する場合がありますが、故障につながるものではありません。 ※換気扇、換気乾燥暖房機から異常な音がする場合は、換気扇等の取扱説明書をご覧ください。		
水栓	水の勢いが弱い	ストレーナーが目詰まりしている	ストレーナーの掃除をします	
		給湯の能力が不足している	浴室以外でできるだけ同時にお湯を使わないようにします	
	湯温が上がらない、または変動する	給湯器の温度設定が低い	給湯器の設定温度を、50～60℃に設定します	
		給湯器の適水量が少なく、給湯器が着火していない	水栓からの吐水量を多くします	
		給湯器の能力が不足している	浴室以外でできるだけ同時にお湯を使わないようにします	
		ストレーナーが目詰まりしている	ストレーナーのお掃除をします	
		サーモスタット水栓の温度調節がずれている	温調ハンドルの設定をしなおします（水栓の取扱説明書をご覧ください）	
照明	照明が点灯しない	ランプがソケットにしっかりとはまっていない	ランプをソケットに確実にはめます	
		ランプの寿命が切れている	ランプを交換します	
排水口	流したお湯がなかなか排水されない	排水トラップまたはヘアキャッチャーが目詰まりしている	排水トラップまたはヘアキャッチャーの掃除をします	
浴槽	お湯がたまらない	排水栓が正しく取り付いていない	排水栓およびヘアキャッチャーを正しく取り付けます	
換気扇･暖房機	スイッチを入れても動かない	停電、または分電盤のブレーカーが切れている	停電の場合は回復をまちます。分電盤のブレーカーが切れている場合はブレーカーを入れます	
	フロントカバーが外れかけている	フロントカバーが正しく取り付いていない	フロントカバーを正しく取り付けます	
	運転中に異常音や振動がする	換気扇やフロントカバーが正しく取り付いていない	フロントカバーを正しく取り付けます 換気扇にガタつきがある場合は修理を依頼してください	
	フロントカバーから水滴が落ちてくる	冬場や湯気の多いとき等にフロントカバーから水滴が落ちる	異常ではありません	

アフターサービスについて

1. 修理を依頼される前に

商品が故障したら「故障かな？と思ったら」を参照してください。
それでも故障が直らない場合は、お求めの販売店または LIXIL 修理受付センターにご相談ください。
なお、不具合でなくても下記の場合はご相談ください。

- ●取扱説明書どおりに使用されても、まだ不明な点がある場合
- ●浴室周辺で異臭や異常音がする場合は、機器スイッチおよび分電盤のブレーカーを切り、すみやかに修理を依頼してください。

上記の場合、そのままにしておくと思わぬ事故につながる恐れがあります。必ずご相談ください。

⚠警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。

※**発火したり、異常作動してケガをする恐れ**があります。
※異常のまま運転を続けると**火災や漏電・漏水の原因**になることがあります。

⚠注意

別荘等長期間使用しない場合は分電盤のブレーカーを切っておいてください。

2. 保証と保証期間について

当システムバスルームは、建築会社様への引渡日より起算して、防水性能は 5 年間、防水性能以外については 2 年間を無償修理保証期間と致します。ただし、無償修理保証期間内でも、有料による修理とさせていただく場合がございます。

3. 修理を依頼されるとき

修理を依頼されるときは再度本書をよくお読みいただき、ご確認のうえなお異常のあるときはお買い求めの販売店に修理を依頼してください。

保証期間中の修理

保証期間内は保証の規定にしたがって修理させていただきます。

保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望によって修理いたします。
料金の内訳は、技術料＋出張料＋部品代です。

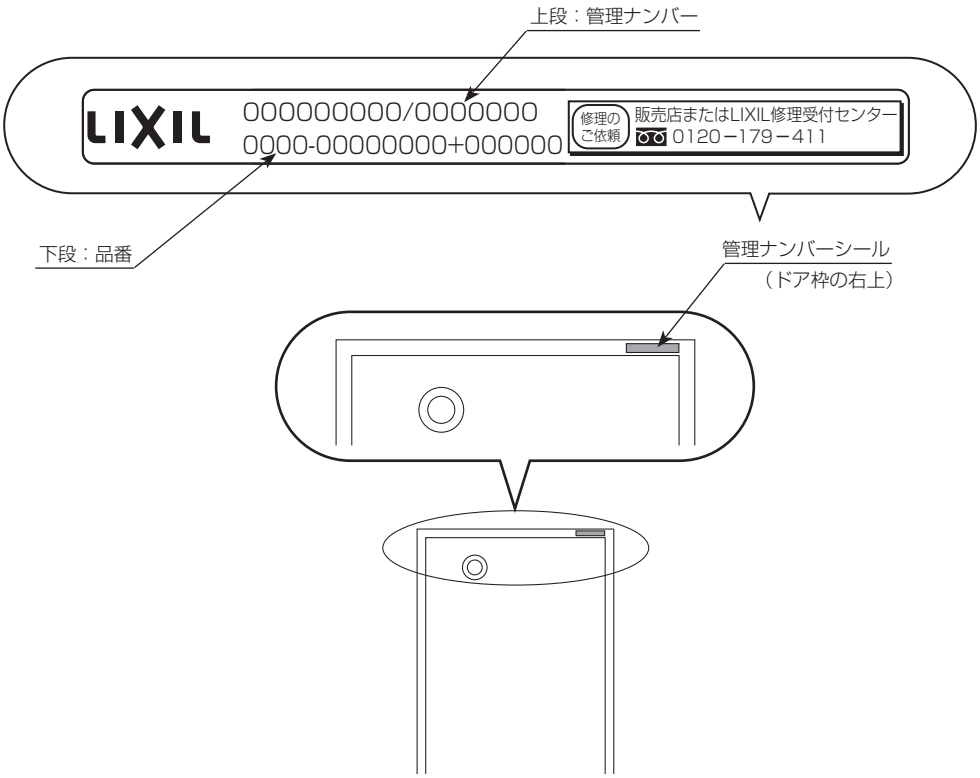
連絡していただきたい内容

1. おなまえ・おところ・電話番号
2. 管理ナンバー・品番←「品番を調べる」参照
3. 取付年月日
4. 故障内容・異常の状況（できるだけ詳しく）←「故障かな？と思ったら」参照
5. 訪問ご希望日

品番を調べる・廃棄について

ドアに張ってあるシールを見る

浴室内ドア右側上部に張ってある管理ナンバーシールで品番をご確認ください。



廃棄について

FRP 浴槽を廃棄処分される場合は、許可を受けている処理業者に処理を依頼してください。
詳しくは、お求めの販売店にご相談ください。

浴室内に使用している主要部材は、ご覧のとおりです。

部位	種類	材料
床	—	FRP（炭酸カルシウム、不飽和ポリエステル樹脂、ガラス繊維）
壁	—	塩化ビニール樹脂金属積層板、石膏ボード
天井	—	ポリエステル樹脂金属積層板、石膏ボード
浴槽	FRP	FRP（炭酸カルシウム、不飽和ポリエステル樹脂、ガラス繊維）
エプロン	FRP	FRP（炭酸カルシウム、不飽和ポリエステル樹脂、ガラス繊維）

※各部材の処分方法は市町村ごとに異なる場合があります。
　廃棄される際は各市町村にご相談ください。

LIXIL

保　証　書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの取扱店に修理をご依頼ください。

※ 取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名	Do CARE Unit（ドゥケア・ユニット）		
保証期間	**取付日より２ヶ年** **ただし防水性能＊は取付日から５ヶ年**	取付日	**年　月　日**

＊防水性能とは「壁、床から浴室外部への漏水を防ぐ性能」をいいます。

お客さま	おなまえ　　様 おところ おでんわ　（　　）　－	取扱店名 TEL（　　）　－

無効

お客さまへ

- 保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
- お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

無料修理規定（保証規定）

1. 「取扱説明書」「ラベル」等の注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
2. 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
3. ご転居等で、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはLIXIL 修理受付センターにご相談ください。
4. 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。（免責事項）
   (1) 用途以外（車両、船舶および使用頻度が極度に高い業務用等）に使用した場合の故障および損傷等の不具合。
   (2) 指定業者や取付説明書等に基づかない取付けおよびユニットバス取付以外の工事に起因する不具合。
   (3) お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障および損傷等の不具合。
   (4) 専門業者以外による移動・修理・分解等に起因する不具合。
   (5) 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）等製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合。
   (6) 経年変化使用に伴う外観上の現象（塗装の色あせ、もらい錆等）または使用に伴う消耗部品の摩耗等により生じる不具合。
   (7) 海岸付近、温泉地等の地域における腐食性の空気環境および公害環境（煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガス等各種ガス）に起因する不具合
   (8) 小動物（犬、猫、ねずみ、昆虫等）の行為または蔓（つる）や根等の植物の害に起因する不具合。
   (9) 天災地変（火災、爆発等事故、落雷、地震・噴火・風水害・津波、地盤沈下、凍結、雪害等）に起因する不具合による故障および損傷。
   (10) 戦争・暴動等破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破損や不具合。
   (11) 自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かび等の現象。
   (12) 消耗品（パッキン）類、配管中の異物の詰まり等による故障および損傷。
   (13) 水道水以外を給水したことに起因する故障および損傷不具合。（水道水とは水道事業体が供給する上水をいいます。）
   (14) 寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障および損傷。
   (15) 給水・給湯配管のサビ、砂やゴミ等の異物の配管内流入および水アカ固着に起因する不具合。
   (16) ガス・電気・給水等の供給で指定された以外の環境（異常ガス圧、異常電源・電圧・周波数、異常電磁波、異常水圧・水質、音、振動等）に起因する故障および損傷等の不具合。
   (17) 指定規格以外のガス・電気・燃料等を使用したことに起因する不具合。
   (18) 熱量変更等に伴う調整等。
   (19) 樹脂、金属に対して影響を与える洗剤、薬剤を使用したことに起因する不具合。
   (20) 保証書の期限切れまたは提示がない場合。
   (21) 本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き換えられた場合。
   (22) 建物完成後、入居までの間の管理等の不備によるもの。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
7. 修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後６ヶ年です。

使い方・お手入れ方法等、商品のお問い合わせはお客さま相談センターへ
TEL 0120-179-400　FAX 0120-179-430
受付時間：平日　9：00～18：00
土日・祝日 9：00～17：00
（ゴールデンウィーク、夏期・年末年始の休みは除く）

修理のご依頼は LIXIL 修理受付センターへ
TEL 0120-179-411　FAX 0120-179-456
受付時間：9：00～20：00
（365 日受付）

株式会社 LIXIL

株式会社 LIXIL

使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問い合わせは

お客さま相談センター

TEL 0120-179-400

FAX 0120-179-430

受付時間　平日　　9：00 ～ 18：00

土日・祝日　　9：00 ～ 17：00

（ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く）

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP 電話等ではご利用になれない場合がございます。
下記番号をご利用ください。

TEL.0562-40-4050　FAX.0562-40-4053

修理のご依頼は（本文の「アフターサービスについて」をお読みください）

お求めの販売店または
LIXIL 修理受付センター

TEL 0120-179-411

FAX 0120-179-456

受付時間　9：00 ～ 20：00（365 日受付）

ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/support/

●当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスなど、当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

インターネット・ホームページ・アドレス　http://www.lixil.co.jp/

取扱店

GPU-0430(15040)

プラ　袋：PE
ヒモ：PVC